

平成26年 第9回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成26年9月18日(木) 午後1時30分～午後2時30分
2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室
3. 主 宰 者 委員長 滝内 秀昭
4. 委員の出席 滝内 秀昭 川畑 徹朗 小林 万理子 江原 礼子 木下 誠
5. 委員の欠席 なし
6. 傍 聴 人 なし
7. 関係者の出席

教育長	木下 誠	学校指導課長	春名 潤一
管理部長	谷澤 伸二	学事課長	大村 寿一
学校教育部長	太田 洋子	保健体育課長	早崎 潤
生涯学習部長	小長谷 正治	学校給食センター所長	松浦 洋一
教育長付参事	大西 俊己	社会教育課長	中畔 明日香
総合教育センター所長	後藤 猛虎	スポーツ振興課長	前田 勝弘
学校教育部副参事	村上 順一	公民館長	池田 真美
人権教育室長	大野 浩史	図書館長	三枝 芳美
生涯学習部主幹	善入 美津治	人権教育室主幹	松山 和久
職員課長	升井 竜雄	中学校給食推進班主幹	田中 康之
施設課長	田原 安治	少年愛護センター所長	倉島 正佳
教育企画課長	花光 潤一	教育総務課主査	中村 太郎

8. 議 事

- (1) 開会宣言 滝内委員長(午後1時30分)
- (2) 日程報告 日程第 1 前回会議録の承認
日程第 2 教育長報告

(3) 前回会議録の承認(日程第1)

平成26年第8回伊丹市教育委員会定例会(平成26年8月21日<木>開催)の会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告(日程第2)

教育長の指示により、管理部長より「9月分人事報告」・「8月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「8月分寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、人権教育室長より人権教育室の、教育長付参事兼中学校給食推進班長より中学校給食推進班の、「8月分行事实施報告」「10月分行事实施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員

8-1ページの通学路安全対策推進会議について、会議の中で出た課題やそれに対する方策を教えてください。昨日も東京で帰宅途中の児童が車にはねられ、意識不明の状態が続いているという大きな事故があった。

早崎課長

通学路安全対策推進会議については、通学路の安全対策には様々な部署が関わっていく必要があるということから、今年度より実施している会議である。出席者は、県から宝塚土木事務所、市長部局から都市安全企画室、道路保全課、教育委員会事務局から保健体育課、そして伊丹警察署交通課の5つの部署が集まり、具体的な対策について考える会議である。

会議において議題としてあがった内容としては、危険な時間帯に道路規制をしてほしい、危険な溝を塞いでほしいなどといったことである。

これらは、事前に学校長を通してあがってきた事項であり、会議の中で対策についての協議を進めている。

自治会に了解を得る必要がある部分や、権限のない私有地、企業が所有する土地については課題が多いと考えている。

今月は9月29日に開催を予定しているが、国土交通省近畿地方整備局より参加の申し出を受けており、参加いただくことになっている。

江原委員

今年度から実施されているということで、組織的な取組が出来ているのは素晴らしいと思う。

東京の事故現場は、いつ事故が起きてもおかしくないと感じている地域の方もいたようだ。

より迅速に、広く連携をとりながら、より良い解決策を見つけるためにも、このような会議を中心に安全対策を進めていただきたい。

小林委員

11ページの市立幼稚園の募集について、幼稚園の統廃合のことなど、市民の方に周知していくべきことがたくさんあると思うが、各地域への説明の予定などが決まっていれば教えてください。

実際、統廃合の対象となりうる園に対しては、より早く説明することが求められると思う。

木下教育長

前回の「教育委員と話そう」では、学校教育審議会より提出された答申の内容について説明させていただいたところである。今後、来年の6月を目途に、行政としての実施計画を立てる予定であって、その後、市民の方に基本方針等について説明する必要があると考えている。

しかし、具体的にどこの園が統廃合の対象となるかということは、こ

の場でも協議していない段階であって、まだなにも決まっていない。

9月議会でも幼稚園の統廃合について質問が出たが、人口減少時代を迎えた今、やはり避けられないことであると思っている。

だからこそ、市民の方の理解を得るために、十分な時間をかけて検討していくことが大事であって、丁寧な説明に努めるべきであると考えている。

また、事務局としては市民意識調査を活用したり、地域に出向くなかで、保護者の方が当事者としてどのような思いを抱いているかということ、慎重に聞き取っていきたいと考えている。

そうするなかで、様々な市民の方と幼稚園の統廃合について一緒に考えていきたいと思っている。

そして、来年度実施計画が出来た段階で、その内容について丁寧に説明していこうと考えている。

小林委員 地域のなかで、いつ説明があるのかといったお声をいただくことがあるので、今後の目安としての計画をお聞きした。

木下教育長 なぜ統廃合が必要なのかということ、まず理解していただく必要がある。これから先を見据えたときに本市が発展していくため、総合的に幼児教育を考えていかなければならない。

待機児童が大勢いるという状況や、財政のこと、公共施設マネジメントのことなど、様々な視点から見て、市としてよりよい方向を考えなくてはならない。

公立幼稚園児の保護者という一つの視点から見ると、近い、安い、便利といった意見が出てくるのは当たり前のことであって、それは当然理解できることであるが、それ以外の様々な視点でみたときの状況を説明するなかで、納得したうえの理解を得る必要がある。

統廃合については、小・中学校においても同じことである。本市は現在対象になっていないが、さらに子どもの数が減ってきたときには考えなくてはならない。

小林委員 まだ決まっていないということか。

木下教育長 まだ決まっていない。

小林委員 可能であれば、「教育委員と話そう」のなかで話したことを、いたみホールなどで、全体向けにできたらいいと思うので検討いただきたい。

木下教育長 7-1ページのライフスキル教育講座について、約100人参加されたという説明があったが、報告には23人と記載があるので確認したい。

太田部長 1行目の初任者研修と合同で実施したので、初任者研修の参加者75人と合わせて約100人ということである。

- 木下教育長 分かりにくいので、表記の仕方を工夫したほうがいい。
また、12ページの総合教育センター運営会議は総合教育センターで開催ということで間違いないか。
- 太田部長 総合教育センターで開催である。
- 木下教育長 7-1ページの授業力向上講座について、全国学力調査の結果から改めて授業の大切さを感じているところである。
意見交換型の授業や、ICT機器を活用した授業、書くことに重点をおいた授業、調べ学習をしてまとめることに力を入れた授業など、一時間一時間の授業をどのように展開するかということが、子どもの学力向上において鍵になってくると思う。
授業のあり方や教員の指導力向上について、現時点での今後の展望をお聞きしたい。
- 村上副参事 授業力向上講座については、夏季休業中に教員を対象として5回実施した。
7月末に実施した講座では、神戸大学大学院准教授の岡部先生にお越しいただき、「活動に培う確かな分かり」ということをテーマに、授業改善のための3つの視点などについて講演いただいた。講演は授業スタイルで行われ、授業を作る、課題をつかむ、見通しを持つ、解決策を持つ、実践する、ふりかえるというサイクルであった。
参加した教員からは、全ての教科で実践につながる授業の組み立て方のポイントに気が付いたという声が聞かれたところである。
また、8月20日に実施した講座では、元同志社大学講師の遠藤先生にお越しいただき、「各教科に生かせる共同学習」について講演いただいた。教材研究の大切さや、グループ活動に取り組むうえで課題を明確にしておくことの重要性についてお話を頂戴した。
8月18日に実施した講座では、保護者の方も対象とし、「子どもと本と学びをつなぐ・子どもの心とことばを育む読書力」をテーマに、奈良教育大学講師の曲里先生に講演いただいたが、46人の保護者の方が参加された。
今後、学力向上に向けてICT機器を活用した分かりやすい授業、目当てを明確にして取り組む授業、授業の最後にふりかえりを取り入れた授業、話し合い活動を取り入れた授業などに重点をおき、授業改善を行っていききたい。
- 太田部長 校内におけるOJTを通じて日々の実践にきっちり取り組み、管理職を含めた周りの教員がきっちりみていくという体制が、授業力向上については非常に大事である。

一方で、総合教育センターの研修を、実際の学校生活に活かすことの難しさを感じている。

各学校の研究テーマが児童生徒の実態に合っているかということなどを、私たち指導主事が丁寧にチェックしていくことが必要であって、若手教員が増えてきていることから、このような体制を取り、学校が力を付けていくことが一層重要になると考えている。

保護者への働きかけとしては、PTA連合会の協力のもと、学力調査の結果を踏まえて家庭にお願いしたいことなどについての研修会を、保護者対象に開催する予定である。

教員の授業力と家庭の支え、地域の支えの3つの歯車がしっかり噛み合うように取り組んでいく。

木下教育長 学力調査の結果を見ても、基礎力はある程度付いてきているが、活用する力の部分に課題が残っていることが明らかである。

教員が研修で学んだことを、現場で活かすことができていないという反省をもとに、1,000人いる教員全員が自主的に動き出すような取組を考えていかなければならない。

滝内委員長 4ページの第2回伊丹市立伊丹高等学校特色化・活性化推進チーム会議に関連して数点伺いたい。

学校訪問の際に、マーケティンググループや市高ホール、自習室を見て回り、学力向上や学校の発展についての取組を十分感じるとともに、ハード面の改良の余地を感じた。

また、市立伊丹高等学校におけるICT機器の整備についてもお聞きしたい。プレゼンテーション能力の大切さは常々教育長からもお話があるが、高等学校でこそ必要なのではないかと強く思うので、今後の方向性を教えていただきたい。

村上副参事 高等学校においても、小・中学校同様にICT機器の必要性を感じている。

現在、高等学校費の予算で対応しており、実物投影機4台を設置し、パソコンルームの整備についても小・中学校と同じように進めているが、さらなる充実に向けて学校と一緒に検討していきたい。

太田部長 定時制の廃校に伴い、そちらで使用している機器については、引き続き全日制で活用することになっている。

また、昨年ソロプチミスト伊丹から実物投影機を3台寄附していただいて、現在4台になっている。

この話については、特色化・活性化推進チーム会議でも議題にあがったことでもあり、今後学校と相談しながら検討していきたいと考えてい

- る。
- 木下教育長 情報化グループが設置され、センターサーバーによる情報管理の一本化がなされていると思うが、子どもたちの教育に資する部分については対応が遅れているということか。
- 村上副参事 現在、パソコンルームに133台、公務用に92台のパソコンを設置しているので、整備が遅れているということはないが、パソコン以外のICT機器が少ないということはある。
- 木下教育長 授業改善の観点からも検討を進めていただきたい。
- 滝内委員長 自転車ラックの整備が進んでおり、以前であれば平置きになっていてスペースがもったいないと感じていたが、非常にきれいですっきりとしていた。今後もソフト面を含めてさらなる充実をお願いしたい。
- 川畑委員 学校訪問に際してホームページを見るうえで、まず最初に「いじめ防止等のための基本方針」に目を通すことにしているが、今日訪問した鴻池小学校のホームページでは見つけることができなかった。
- トップページに載せている学校があれば、端のほうに載せている学校もあり、さらには見つけられない学校もあるので、各学校の現状を調査していただいたうえで改善を求めたい。
- 村上副参事 6月頃に一度調査し、トップページに載っていないところは載せるよう指導し、全校でトップページに掲載していることを確認したところであるが、その後の更新作業で紛れてしまっている可能性があるため至急確認する。

(5) 閉会宣言

滝内委員長 (午後2時30分)

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育委員会委員長

滝内 秀昭

伊丹市教育長

木下 誠